

露清の鐵道政策

江平原蒙古塔附近一帶五百方里の鐵路は挖出づるものなり、延長二百五十哩餘なる開拓範圍にして松花江黑龍江の水運は倍て滿韓連絡の幹線とすべし、是鐵路によつて之を促成し北蒙古一帯は全く其恩惠を離て滿韓の廣原と日本海との連絡を促成せらるゝことを得ざるものあり、將來若し其時は將來彼我交通の一大得策たるのみならず機ありとすれば韓國は渾春を基點として浦經濟的効果及滿韓關係の促成に至つては原港に連絡を求め更に東清鐵道との連絡は上に甚大なるものあり、斯の如く今日在り此の間一帯の開発支配權を有するに至るの實力は必ず其時機あるべしかを信ず、

日本之鐵道政策

將來日本の滿洲に於ける鐵道政策は如何にすべきか、滿鐵幹線は今日の儘にては其經濟的効果は未如數なり、少くも其効果は偉大なりと云ふことを得ず、吉長線の將來の達成は稍、其効果を添ふるに似たるも、宛も一羽一毫の重きを加へたるに過ぎず、安奉線は變更線と共に暫く研究問題として

れ自然の機運に伴ふ必然的計畫なり。若し夫れ今日獨り安東線變更に應心せる如きは大局の明を缺くものにして須らく奉線は安奉線にて改築を完了して可なり而して更に滿鐵の經濟及交通の關係緊密ならしむると共に滿鐵の開發に資すき鐵道政策を講ずるを以て急務とす。

日露の將來(一)

力略に察し得べし、而して將來の鐵道政策は如何にすべき歟、吾人は其方針は南滿幹線を基礎として滿洲内地の開発に力を致すと共に鐵道を以て滿韓の經濟及交通上の關係を緊密ならしむるの途を擧げらばざるべからずとす。

滿韓の經濟及び交通上の關係に於ては安奉鐵道ありと雖も同線は戰役時代に急遽に廢止せられたる爲に、最近の鐵道に於ては是れ

一月三十一日のノウオエウレミヤナ
上に未來の戰爭を題して左に譯出せ
が如き説を掲げたり
露國に未だ曾て最近の日露戰爭の如
悲む可き前爭を爲せる事あらざるなり我
露國の敗跡を以て終りし戰争は一更に止
らざりき一例を言へば一千八百五十四年
五年の我が敗跡を描きたる困難なりし東

角經濟的方面に於ては、聊かの調査を経ざるものにあらず業より其効果なしとせざるも更に他に、諒語を擇ばせざるべからざる理由あり、現在の安奉線は交通の點に於ては或は可なり、滿洲内地の資源開發の機關としては、決して適當なりと云ふことを得ず。然らば安大の變更概は如何、是れも同じく同理由の下に其効果の大なることを信ずる者一事たりと云ふを、解得せりや歷史が我

能はず、安東縣は滿鐵の鐵道地點として適當なるに異議なきも奉天及び其以南の南滿鐵道線路と連絡するに單に交通の利便以外何等の効果を認め難く、猶ほ將來滿洲の大に開發せる時は今日交通の利便は必ずしも保し難きものなり、若し安東縣を基點として將來の滿鐵の經濟的連絡を確せんと欲せば安東縣より吉長鐵道の連絡線を敷設するを以て一策とす、松江原上流一帶の平原先づ政事上、方面を觀察せんか此の戰爭を以て一策とす、

其の土地なり然れば如何せんとするかといふに日本人は全力を注ぎて何處よりなりとも其の必要とする土地を得ん事を熱心これ應りて止まざるなり日本は其の土地を何處に何れより之を得んとするが日本の太平洋に於ける將來の政策に此の問題の決定如何に依るや定まらず是れ我々の急務なりしむじ器とせる可なる事柄なり

相範は元自強會員なりしより愛錫現なる者を使喚して大韓協會支部設置に奔走せしめ或は昌城日語學校日本人教師が本月聘請期満となるを機と之を解僱して將來日本人を聘請せる事に決す等種々非行を行働をなすつゝありしが全朝鮮州都空官廳に金鶴根在任中の非行取調の命を承け該地に出張し金一、金二千兩を收賄且つ同郡主事

たが、叩き欲干して杯を下に置く。
「何だぞ、老少不定だから何日何時汝が死
ぬかも知れないから、儼然にして、そりや
ア人の生命だもの、今日死ぬか明日死ぬか
分るもんか、汝の生命が知れなきやア私の
生命だつて知れないさ、だけれども、若い
考へて云へ」

それを思ふたら、何だ小鯛の一尾位買つた
からつて、ヤレ贅澤が過ぎるの、不時の難
備に金手を残せとの、私に向つて云はれ
義理ぢやあるまいぞ、あんまり慇懃な事
を云ふと、汝の身に聞かざる少しは物を

いて、其の苦い中から蜜をこれまで育て上げたは、何を目的に育てたと思ふのだ。櫻梅の中へ兩脚入れるやうな年齢になつてから、飲みみ酒を飲む、食ひたい小君で、それに僅ばかりの端金を節儉にして奈何するのだ、千兩箱を富士の山嶺で積んで見た所で、冥途まで持つて行かれるぢやあるまいし、現世に生きている間にでもせめて、人々「朋族亂暴を言へば爲方ないけども、若し私が宅を飛出してもしたら奈何します、それでも爲方ないでせう」

「なに爲方ない事があるもんか、宅を飛出しても爲方うもんなら、それこそ其儘でくゝるのか、足手の利かないまで蔽きのめしてくる」

「ぢやよあア食いたい物を食べ、飲みたい酒を」



-232-